

# 日本のモノづくりの発展を担う

## 葛飾区産業

### 中小のデジタル化支援 補助金新設

東京都の北東に位置する葛飾区は、日本でも有数の工業集積地域である。工場数は東京23区の中で大田区、墨田区に次ぐ第3位を占め、業種構成も金属プレス、機械部品、粉末冶金製品、工業用ゴム、玩具、印刷など多様な特徴がある。大半は従業員6人以下の小規模工場が占め、最近では研究開発や自社製品製造を志向する企業も増えている。



葛飾区長 青木 克徳氏

都内有数の工業集積地

### 事業承継 相談窓口を開設

「試作機はすでに完成しており、今は日本体育大学の学生に試してもらい、必要なデータを収集している。どんな形でアップグレードすれば大学やスポーツジムで使ってもらえるかを検討し、最終的な商品化を進めている。また新製品・」

### 「町工場見本市」 ENEXで併催 29-31日

葛飾ブランド「葛飾町工場物語」の認定企業数が本年度新たに7件増え、合計103件と3ヶ年の大台に乗りました。「昨年度までは区内に工場がある企業が認定対象だったが、最近では区内に本社があっても、区外に工場を移転しているところもある。今年はそのような企業も認定対象として認めるようにした結果、7件新規認定した。もともと区内の町工場の高い技術力を発信していきたいという考えから、2007年に第1回の認定を開始し、今年で17回目を迎えた。審査員がチェックして区が認定したとなれば『あそこが評価された製品なら試してみよう』と、仕事に結びつけてほしい」と、葛飾区の産業の課題は何ですか。それに対して、どう取り組まれますか。「一番は高齢化だ。人口が最も多いのは団塊の世代だが、企業経営者も同様で、本人は若いと思っていながらも、突然倒れたり身体が

### デジタル化支援など補助金充実



「デジタル化合同セッション」では先進的な中小企業が講演した

### 生産性向上・業務効率化を後押し

葛飾区の2024年度施策の目玉は「デジタル化支援事業費補助金」の新設だ。「デジタル化に興味はあるものの、どこから手をつけて良いかわからない」という区内中小企業の声に応じた。補助上限額は50万円、補助率は5割の1と決して大きな規模とはいえないが、中小企業の生産性向上や業務効率化につなげるための「呼び水」として期待される。対象は「勤怠管理システム」「受注管理システム」「クラウドサービス」などのソフトウェア購入費・利用料や、キャッシュレス決済の導入にかかる費用、クラウドサービスの利用料、システム構築のための外注費、デジタル技術の導入方法を実証するための専門家からの技術指導料など幅広い。ただし、ハードウェア購入のみの経費や、ソフトウェアの更新費・追加購入ライセンス費などは含まない。

### 「見本市出展費補助金」も拡充 最大年3回に

申請には葛飾区が開催する「デジタル化合同セッション」での個別相談や「デジタル化診断書」の交付を受けることが必要となる。ITの専門家が業務上の課題や問題意識を聞き取り、相談しながら取り組み内容を決定できる伴走支援を行う。導入する内容を決めた後も3-6回の面談を通じて、成果を確認しながらデジタル化を進めることが可能だ。



経営・財務・販路拡大などが無料で行われる「創業塾」も開催

同補助金は募集開始から5カ月で30件ほどの相談があり、葛飾区では25年3月までに40件程度の申請・承認を見込んでいる。産業観光部工振課課長の渡辺裕洋工業振興係長は「ほかの区はほぼ要件が厳しくなく、生産性向上につながるものは幅広く受け付けている」と話し、区内中小企業の多くが同補助金を活用することを期待している。これに関連して、区内中小企業を対象に「ホームページ作成費補助金」事業も継続して実施している。製品や技術を広くPRする手段として、自社ホームページを作成・改修、または同時に外国語対応(日本語を含めて2カ国語以上の言語に対応することが条件)を実施する際の経費を助成する。補助率は2分の1で、補助上限額は通常のホームページ作成・改修が5万円、外国語対応のホームページ作成・改修は8万円。さらに電子商取引(EC)サイトの新規構築は10万円、PR動画の作成・掲載は1万円を助成する。また24年度は、区内中小企業が生産・加工する製品をPRするために「見本市出展費補助金」も拡充した。これまでは年2回までの支給だったが、年3回に拡大。補助上限もこれまで初回が30万円、2回目以降は15万円だったが、本年度は2回目・3回目も30万円に増額した。さらに物流業界の残業規制強化に伴いドライバーが不足する2024年問題に対応するため、「産業界人材育成支援補助金」事業を拡充した。区内の中小企業、大型免許・大型一種免許などの取得にかかる経費の2分の1、上限額60万円を助成する制度を創設した。

**勇気ある経営大賞** - 中小企業は想像以上だ - 東京商工会議所

「勇気ある経営大賞」とは、過去に拘泥することなく、高い障壁に挑戦し、理想の追求を行うなど、「勇気ある挑戦」をしている中小企業を顕彰する制度です。

第11回町工場見本市2025に葛飾区の受賞企業が出展します!

〈第21回勇気ある経営大賞 受賞企業〉  
【総合部門】 ★奨励賞『ミズホ金属株式会社』  
『株式会社南葛SC』

※第22回「勇気ある経営大賞」の募集は2025年秋頃を予定しています!

**カインズグループ**

もうすぐ100年。これから100年。

当グループは創業1927年。木箱の製造販売から始まりました。今はグループ7社、協力会社1000社以上、内外多くの方に支えられ、私たちはまもなく100周年を迎えようとしています。常にチャレンジ精神を持ち、協力会社様、代理店様、販売店様と四位一体で協力し合い、そして商品をご愛顧いただくお客様に愛される企業となるべく社員一丸となって不断の努力を重ねてまいります。もうすぐ100年のカインズグループはこれからの100年に向かって歩み始めています。

**第11回 町工場見本市 2025年**

今年のテーマは「サステナブル」※1

葛飾区とその周辺区域の「町工場」がつくる未来

会場 東京ビッグサイト 東ホール  
今年ENEX2025内で開催します!

会期 2025年1月29日(水)~31日(金)  
午前10時~午後5時

公式サイト <https://machikouba.jp/>

入場無料

※1 サステナブル(Sustainable)は、sustain(持続する)とable(~できる)からなる言葉。「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味

フォークリフトカメラ IoT センサキャスター 電動アシストユニット

IoT・センシング技術でお出迎えします。ぜひお立ち寄りください。

第11回 町工場見本市 2025年1月29日(水) - 31日(金) 10:00 ~ 17:00 弊社ブース場所: 2F-12-03

KINDS カインズ株式会社 本社 〒125-0054 東京都葛飾区高砂1丁目2番4号 <https://www.kinds.co.jp/> TEL 03-3692-7630 FAX 03-3694-7630

